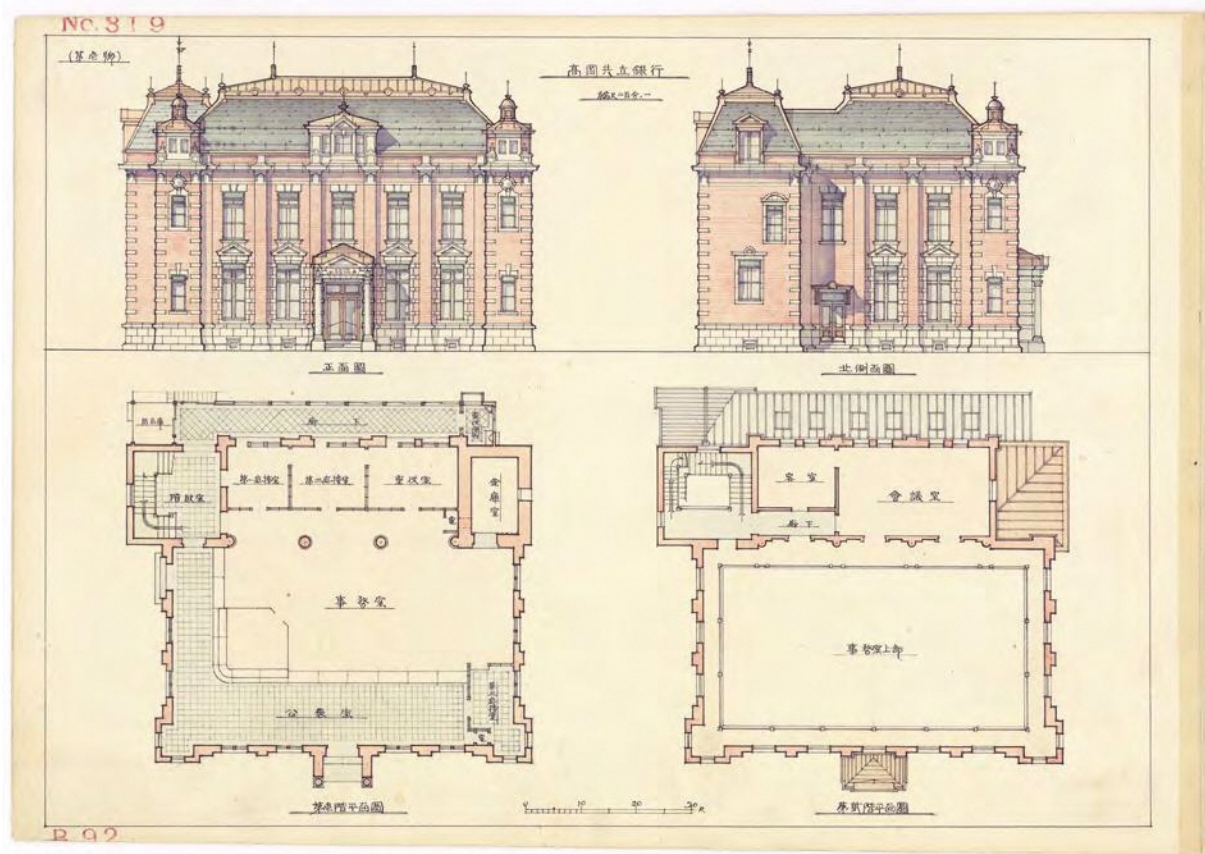
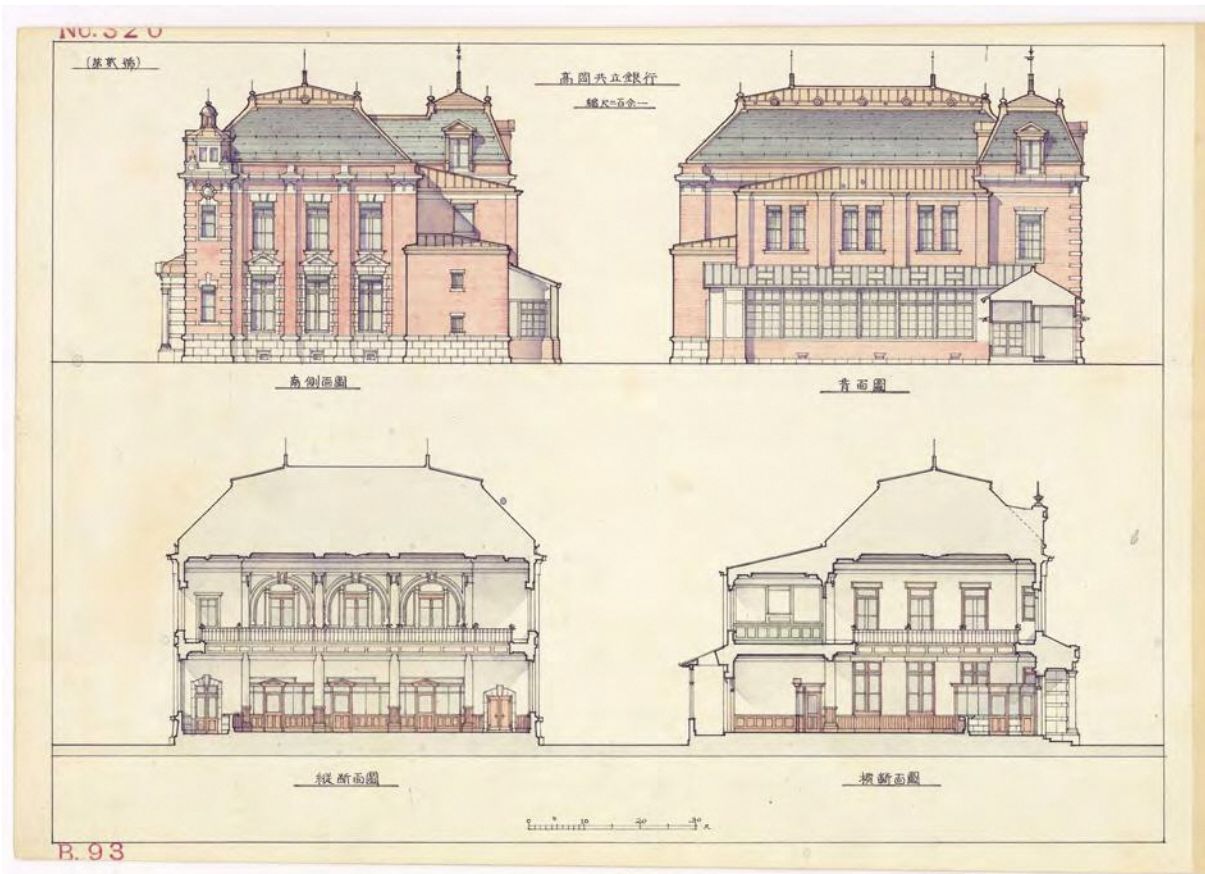


巻末資料

1. 清水建設所蔵『彩色設計図集』（登録文化財）より高岡共立銀行設計図
2. 清水建設所蔵 関連設計図書一覧
3. 関連新聞記事
4. 国内で金属天井の残存が確認される建物一覧
5. 『高岡繁昌双六』



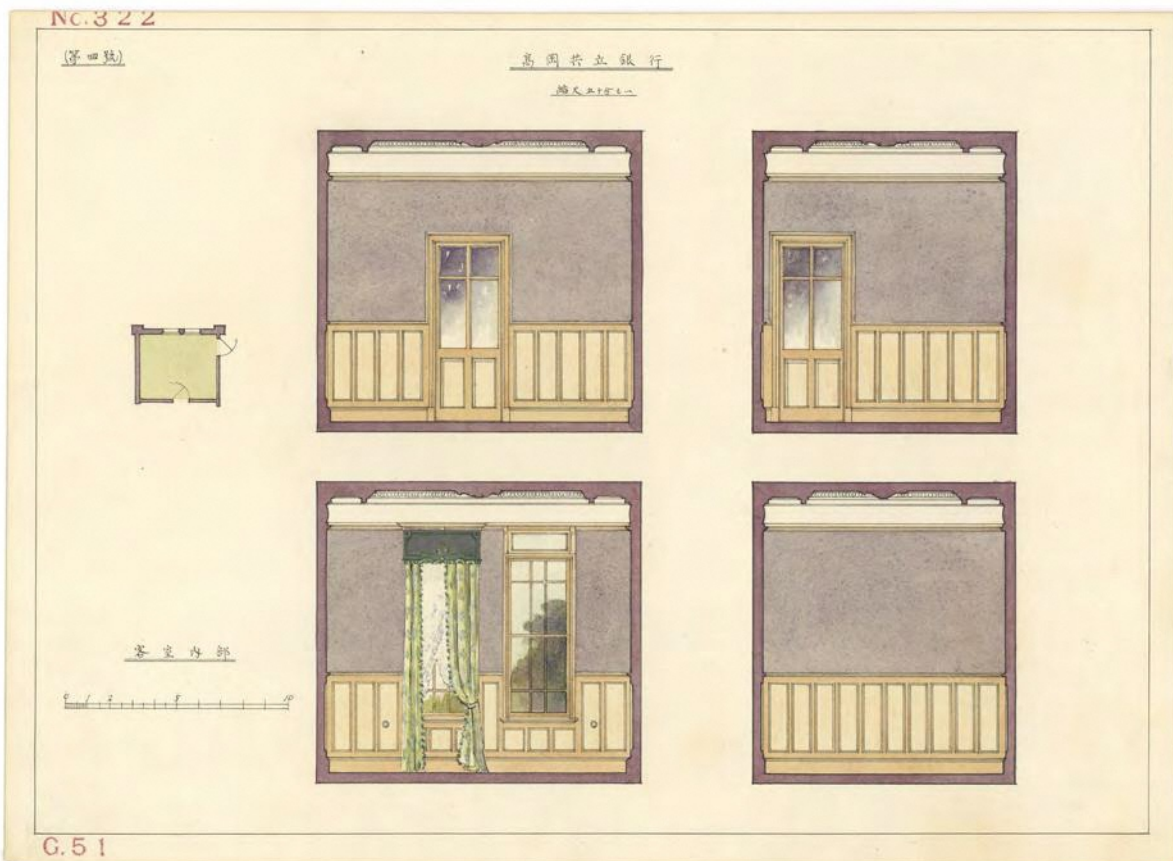
高岡共立銀行 正面図 側面図 平面図



高岡共立銀行 側面図 断面図



高岡共立銀行 會議室内部 展開図



高岡共立銀行 客室内部 展開図

No.	図 面	SCALE	年月日		DRO.	CPD.	備考	枠内図面番号	枠外整理番号	図面分類	本計画掲載頁
1	第一階平面図、第二階平面図、面積表	1:100	大正2年8月5日	謄写		須藤		1	G1	一般図	p12
2	正面図、北側面図、横断面、縦断面	1:100	大正2年8月7日	謄写	岡本	佐伯		2	G3	一般図	p 57, p 58
3	背面図、南側面図、屋根平面図	1:100	大正2年8月26日	謄写	代 岡本	佐伯		3	G2	一般図	
4	断面図（附属屋煙突～地中配管）	1:50	大正2年9月26日	謄写	代 岡本	?		22	G4	一般図	
5	横町煉瓦塼之図（門断面図、平面図、建図）	1:50, 1:100	大正3年9月13日	謄写	岡本	岡本		51	G5	一般図	p 132
6	塔屋詳細（建図、断面図、屋根平面図、塔屋平面図、鉄小屋平面図）	1:20	大正2年10月6日	謄写	岡本	矢田部		27	G6	一般図	
7	現金場仕切現寸、掛金現寸		大正3年10月10日	謄写	岡本	?		55	F1	現寸図	
8	北側面三階角家詳細（建図、三階断面）、正面中央塔屋詳細（建図、断面、平面）、陸屋根断面図	1:20	大正2年8月25日	謄写	岡本	?		8	D1	詳細図	
9	矩計図	1:20	大正2年8月6日	謄写	岡本	須藤		5	D2	詳細図	
10	金庫室（矩計図、棚伏図、窓平面）、廊下（矩計図、平面）	1:20, 1:50	大正2年8月29日	謄写	岡本	?		6	D3	詳細図	
11	北側面三階角家詳細（建図、断面、窓平面）、陸屋根詳細（建図）	1:20	大正2年12月29日	謄写	Ke	Ke		34	D4	詳細図	
12	大理石割之二（階下階段室入口、金庫室入口石割、電話室、第三芯接室）	1:20	大正3年7月28日	謄写	岡本	イトウ		50	D5	詳細図	
13	外構図（北隅円形平面、鉄柵建図、表面昇降口平面、側面昇降口平面）	1:20	大正3年9月8日	謄写	岡本	岡本		52	D6	詳細図	p 131
14	吹抜（断面詳細図、建図）	1:20	大正2年12月23日	謄写	岡本	?		32	D7	詳細図	
15	会議室展開図	1:20	大正2年12月29日	謄写	岡本	?		33	D8	詳細図	
16	大理石割之一（公衆室平面図、建図）	1:20, 1:100	大正3年7月28日	謄写	岡本	?		49	D9	詳細図	
17	吹抜詳細図（柱脚、照明器具、手すり、柱頭、コーニス）	1:10	大正3年8月7日	謄写	岡本	?		48	D10	詳細図	p 28
18	第三芯接室仕切壁（平面図、詳細図）	1:2, 1:20	大正2年9月24日	謄写	岡本	?	訂正印現設計図番号9、10初訂	54	D11	詳細図	
19	側面昇降口（正面、断面、内側正面図、平面、庇：天井伏）	1:20	大正2年9月2日	謄写	K.C.	K.C.		21	D12	詳細図	
20	階下階段室平面、階上階段室平面	1:20	大正2年8月20日	謄写	岡本	須藤		9	D13	詳細図	
21	階段室断面、外壁建図	1:20	大正2年8月21日	謄写	岡本	?		10	D14	詳細図	p 31
22	平面図（第一芯接室、第二芯接室、重役室）、硝子仕切見付、金庫扉	1:20	大正2年8月19日	謄写	岡本	?		11	D15	詳細図	
23	正面昇降口（正面、縦断面、扉姿、横断面、平面、屋根平面、小屋伏）	1:20	大正2年8月19日	謄写	岡本	須藤		7	D16	詳細図	
24	床伏図（階上階段室及び客室廊下、階段室詳細、公衆室詳細）	1:20, 1:50	大正2年9月10日	謄写	岡本	岡本		53	D17	詳細図	
25	三階階段平面図、三階階段立面図	1:20	大正3年6月21日	謄写	岡本	伊藤		44	D18	詳細図	
26	重役便所（平面図、天井伏図、地形平面、内部見付	1:20	大正3年4月25日	謄写	岡本	?		42	D19	詳細図	
27	廻廊親柱割込、廻廊天井伏、手すり子割付	1:50	大正3年6月25日	謄写	岡本	岡本		45	D20	詳細図	
28	第三芯接室平面、展開図、スクリーン上部	1:20	大正3年6月28日	謄写	岡本	伊藤		46	D21	詳細図	
29	階段昇り初め計画図、事務室内電話室平面図、建図	1:20	大正3年6月29日	謄写	岡本	伊藤	訂正印現設計図番号9、10初訂	47	D22	詳細図	
30	重役室及芯接室天井伏、営業室天井伏、廊下天窓詳細、附属廊下天井伏	1:20, 1:50	大正3年3月24日	謄写	K.C.	K.C.	K.S.	39	D23	詳細図	p 27
31	建具図	1:20	大正3年1月13日	謄写	?	?		36	D24	詳細図	
32	客室展開図、天井伏図	1:20	大正3年1月14日	謄写	?	?		35	D25	詳細図	
33	第一芯接室、第二芯接室、重役室ノ裏側入口平面図、立面図	1:20	大正2年12月21日	謄写	岡本	?	訂正印2.12.11	31	D26	詳細図	
34	家具・照明器具配置図			謄写	岡本	?		40	D27	詳細図	
35	雪除金物修繕、木製柵之図						枠なし、フリーハンドスケッチ		D28	詳細図	

No.	図 面	SCALE	年月日		DRO.	CPD.	備考	枠内図面番号	枠外整理番号	図面分類	本計画掲載頁
36	側面入口庇（正面図、断面図、天井伏図）	1:20	大正7年6月18日	製図	岡本	？	高岡公立銀行本店修繕、合資会社清水組設計部本設計	*2	D29	詳細図	
37	側面入口庇（正面図、側面図、平面図、詳細図）						枠なし		D30	詳細図	
38	詳細図（旗竿金物、看板）	1:20	大正3年11月20日	謄写	岡本	？		57	D31	詳細図	
39	係員標柱現寸図	1:1	大正3年10月20日	謄写			枠なし		F2	現寸図	
40	構造計算図（中央屋根トラス）	1:100	大正2年7月	計算				2	C1	構造計算書	
41	構造計算図（北側面塔屋屋根トラス）		大正2年7月	計算				3	C1	構造計算書	
42	雪除金物（詳細、現寸図、見付）	1:1, 1:20	大正7年6月18日	製図	岡本		高岡公立銀行本店修繕、合資会社清水組設計部本設計	*1	C1	構造詳細図	
43	鉄骨詳細図（廻廊床拵出鉄梁取付、拵出廻廊床振止め、組立胴差取付、足固め鉄梁ノ取付及び柱座）	1:10	大正2年8月24日	謄写	岡本	岡本		19	C2	構造詳細図	
44	鉄骨詳細図（柱ノ継手、胴差及び床梁ノ取付、床梁及び胴差高低区分図）	1:10	大正2年9月3日	謄写	岡本	岡本		20	C3	構造詳細図	
45	鉄骨詳細図（地廻リ取付図之一）	1:10	大正2年9月22日	謄写	岡本	岡本		23	C4	構造詳細図	
46	鉄骨詳細図（地廻リ取付図之二）	1:10	大正2年9月22日	謄写	岡本	岡本		24	C5	構造詳細図	
47	鉄骨詳細図（地廻リ取付図之三、裏側葺卸小屋梁取付図）	1:10	大正2年9月23日	謄写	岡本	岡本		25	C6	構造詳細図	
48	鉄骨詳細図（中央屋根鉄骨）	1:10	大正2年9月27日	謄写	岡本	岡本		26	C7	構造詳細図	
49	鉄骨詳細図（左右塔屋鉄骨、中央塔屋鉄骨）	1:10	大正2年10月13日	謄写	岡本	岡本		28	C8	構造詳細図	
50	鉄骨詳細図（北側面塔屋鉄骨）	1:10	大正2年10月13日	謄写	岡本	須藤		29	C9	構造詳細図	
51	鉄骨詳細図（妻ノ小屋組取付詳細）	1:10	大正2年10月20日	謄写	岡本	須藤		30	C10	構造詳細図	
52	会議室天井伏図、各婦材鐵筋ノ図	1:20	大正3年2月6日	謄写	Ke	？		38	C11	構造詳細図	
53	鉄骨詳細図（柱継手訂正図）	1:10	大正2年10月27日	製図	岡本	々	訂正印大正2年10月27日製図、枠なし	20 附属	C12	構造詳細図	
54	特許田中式改良木骨装置取付詳細図						枠なし、青焼き反転		C13	構造詳細図	
55	煉瓦基礎平面図、断面図	1:20, 1:100	大正2年8月14日	謄写	岡本	須藤		4	C1	構造一般図	
56	地階鉄柱足固め配置図	1:50	大正2年8月5日	謄写	森田	？		12	C2	構造一般図	
57	第一階鉄骨配置図	1:50	大正2年8月5日	謄写		？		13	C3	構造一般図	
58	本館葺下し屋根鉄骨伏図、本館地廻り及び金庫小屋組伏図	1:50	大正2年8月6日	謄写	森田	？		14	C4	構造一般図	
59	小屋組伏図	1:50	大正2年8月6日	謄写	森田	佐伯		15	C5	構造一般図	
60	鉄骨正面図	1:50	大正2年8月6日	謄写	岡本	須藤		16	C6	構造一般図	
61	鉄骨北面図、鉄骨南面図（隅一部）	1:50	大正2年8月6日	謄写	岡本	？		17	C7	構造一般図	
62	鉄骨背面図	1:50	大正2年8月6日	謄写	岡本	？		18	C8	構造一般図	

No.	図 面	SCALE	製図 (年月日)	騰写 (年月日)	主任	計・主	原	計	圖	寫	備考	枠内図面番号	枠外整理番号	図面分類	本計画掲載頁
1	地下室詳細	1:20	大正14年9月22日	大正14年11月5日			?		下村	鈴木		3	D1	詳細図	
2	正面矩計	1:20	大正14年9月7日	大正14年9月18日	大友		音澤?		下村	?		4	D2	詳細図	
3	各階階段平面	1:20	大正14年10月20日	大正14年10月28日	大友		音澤?		下村	伊藤		5	D3	詳細図	
4	階段詳細	1:20	大正14年10月20日	大正14年11月6日	大友		音澤?		下村	?		6	D4	詳細図	
5	煙突	1:20	大正14年10月27日	大正14年11月5日			音澤?		音澤?	富塚		7	D5	詳細図	
6	一階便所洗面所	1:20	大正14年11月18日	大正14年11月30日			音澤?		音澤?	高●?		8	D6	詳細図	
7	二階便所洗面所	1:20	大正14年11月19日	大正14年12月1日	大友		音澤?		音澤?	?		9	D7	詳細図	
8	重役室詳細	1:20	大正14年11月24日	大正15年1月22日	大友		音澤?		下村			10	D8	詳細図	p 30
9	便所、玄関、応接室天井	1:20	大正14年12月22日		大友		音澤?		下村			11	D9	詳細図	
10	応接室、頭取室、重役室天井	1:20	大正14年12月22日		大友		音澤?		下村			12	D10	詳細図	
11	地下地階段	1:20	大正15年3月18日		大友		音澤?		下村			13	D11	詳細図	
12	裏門及塀 其ノ一	1:100, 1:20	大正15年3月15日				音澤?					14	D12	詳細図	
13	裏門及塀 其ノ二	1:100, 1:20	大正15年3月15日		大友		音澤?		下村			15	D13	詳細図	
14	旧館風除スクリーン	1:20	大正14年10月7日		大友		音澤?		音澤?			16	D14	詳細図	
15	地下室詳細	1:50	昭和13年4月9日							株式会社清水組設計部		1	D15	詳細図	
16	一般図 (平面)	1:100	大正14年7月6日	大正14年7月28日	大友		音澤?		音澤?	?		1	G1	一般図	p 12, p 29
17	一般図 (平面及断面)	1:100	大正14年7月8日	大正14年8月1日	大友		音澤?		音澤?	?		2	G2	一般図	p 29, p 57, p 58
18	基礎詳細図	1:100, 1:20	大正14年7月11日	大正14年7月21日	大友	吉田	音澤?	村田	音井?	高●?		52	C1	構造図	
19	第壹階及地階柱詳細	1:20	大正14年6月17日	大正14年7月21日	大友	吉田	音澤?	村田	音井?	?		53	C2	構造図	
20	第貳階柱詳細	1:20	大正14年6月17日	大正14年7月23日	大友	吉田	音澤?	村田	音井?	近藤		54	C3	構造図	
21	第參階柱詳細	1:20	大正14年6月17日	大正14年7月28日	大友	吉田	音澤?	村田	音井?	塩田		55	C4	構造図	
22	各階外壁及各床版詳細図	1:20, 1:50	大正14年8月20日	大正14年9月5日	大友		音澤?	吉井	吉井	?		56	C5	構造図	
23	第一階各床梁及二階B5詳細	1:20	大正14年8月12日	大正14年8月21日	大友	吉田	音澤?	村田	吉井	長崎		57	C6	構造図	
24	第貳階W7W9W10W11W12詳細	1:20	大正14年8月11日	大正14年8月21日	大友	吉田	音澤?	村田	吉井	?		58	C7	構造図	
25	貳階B2B3及參階B7詳細	1:20	大正14年8月18日	大正14年9月4日	大友		音澤?	吉井	吉井	富塚		59	C8	構造図	
26	陸屋根床梁W5B7B8G4B9	1:20	大正14年8月24日	大正14年9月7日	大友		音澤?	吉井	吉井	近藤		60	C9	構造図	
27	階段配筋詳細	1:20	大正14年10月19日	大正14年10月27日	大友	吉田	音澤?	吉井	吉井	長崎		61	C10	構造図	
28	地下室 配筋詳細	1:20, 1:50, 1:100	昭和13年4月11日	13.6.21訂正 13.6.25訂正						株式会社清水組設計部		2	C11	構造図	
29	各階梁伏及梁表	1:200, 1:20	大正14年6月16日	大正14年7月24日	大友	吉田	音澤?	村田	音井?	塩田		51	C1	構造図	
30	衛生設備 壹階	1:100	昭和13年5月28日				和田、中島?、吉岡					1	機1	機械設備	p 12
31	衛生設備 廃案	1:100					和田、中島?、吉岡、永野					1	機1	機械設備	p 12
32	衛生設備 貳階	1:100	昭和13年5月28日				和田、中島?、吉岡					2	機2	機械設備	p 12
33	衛生設備 參、屋上階	1:100	昭和13年5月28日				和田、中島?、吉岡					3	機3	機械設備	p 12

■富山日報：大正3年(1914)12月29日朝刊

●新築の高岡共立 — 壯観蓋し市の一異彩 —

工事費及び家具、裝飾費等を合し、約8万円を以て昨年9月1日起工し、本年12月25日を以て竣工したる高岡共立銀行の本館は、2階建にして、高さ避雷針上端まで58尺9寸ありて宏壯輪奐を極め、外部の赤煉瓦は、隣町御馬出町なる高岡銀行の白亜と相對峙して守山町を飾り、頗る偉觀を呈せり。

同行は来る27、8の兩日、一般公衆の縦覧に供し、28日夜を以て新築行舎に仮移転を行い、翌29日より行務を執り、本移轉式は、明年1月上旬若くは中旬ならむと云ふ。

今、その構造の一斑を記るさんに、基礎は地下11尺を掘下げ、コンクリートを以て固め、壁は補強式鉄骨煉瓦造にして、標準壁の厚1尺2、3寸、外部は大坂窯業会社製裝飾煉瓦を張付け、北米産¹の花崗石を混飾し、正面昇降口は総体、花崗石にして、頂上の金属製行名は、帝都実業家の巨擘たる渋沢男爵の揮毫にかゝるものにて筆勢勇健、大に衆目を惹く。行舎の階下を金庫、營業、公衆、階段、重役、第1応接、第2応接、第3応接の各室に、2階を貴賓、會議、階段、吹抜各室に、3階を予備室に夫れど配置し、事務室、公衆室、吹抜天井及び重役室、応接室の金属打出し天井は、特に海外に注文したるものにて、その他は漆喰塗として、2階々段室、同廊下床は鉄筋コンクリート、公衆室は服部製砥出し敷瓦とし、その他は板張りリノリウム敷とし、階段は鉄製にして、段端にはゴム入り金具を取付け、就中營業台甲板は長州産の薄雲大理石、長5尺、巾2尺5寸のものを敷き、腰羽目は公衆室、壁際は大理石にして薄雲石、及、蛇紋石を張りて裝飾せり。出納方のスクリーンは金属製として、金庫の周壁は煉瓦を倍增し、天井は鉄筋コンクリート、床は防水層入りコンクリートとし、入口及び窓は東京竹内製重扉とし、窓入口には全部、大野式特許品合資会社製の巻上げシャッターを取付け。

なお、暖房は温水式にして、放熱器、及、汽罐は米國製なり。附属家屋内地下へ汽罐を据付け、鉄管を以て温水を送るものなるが、設計及び工事（以下、要確認）

新築の高岡共立
— 壯観蓋し市の一異彩 —

工事費及び家具、裝飾費等を合し、約8万円を以て昨年9月1日起工し、本年12月25日を以て竣工したる高岡共立銀行の本館は、2階建にして、高さ避雷針上端まで58尺9寸ありて宏壯輪奐を極め、外部の赤煉瓦は、隣町御馬出町なる高岡銀行の白亜と相對峙して守山町を飾り、頗る偉觀を呈せり。

同行は来る二十七八の兩日、一般公衆の縦覧に供し、二十八日夜を以て新築行舎に仮移轉を行ひ、翌二十九日より行務を執り、本移轉式は明年一月上旬若くは中旬ならむと云ふ。今、其の構造の一斑を記るさんに、基礎は地下十一尺を掘下げ、コンクリートを以て固め、壁は補強式鉄骨煉瓦造にして、標準壁の厚一尺二、三寸、外部は大坂窯業会社製裝飾煉瓦を張付け、北米産の花崗石を混飾し、正面昇降口は總体花崗石にして、頂上の金属製行名は、帝都實業家の巨擘たる渋沢男爵の揮毫にかゝるものにて筆勢勇健、大に衆目を惹く。行舎の階下を金庫、營業、公衆、階段、重役、第一應接、第二應接、第三應接の各室に、二階を貴賓、會議、階段、吹抜各室に、三階を予備室に夫れど配置し、事務室、公衆室、吹抜天井及び重役室、應接室の金属打出し天井は、特に海外に注文したるものにて、その他は漆喰塗とし、二階々段室、同廊下床は鉄筋コンクリート、公衆室は服部製砥出し敷瓦とし、その他は板張りリノリウム敷とし、階段は鐵製にして、段端にはゴム入り金具を取付け、就中營業台甲板は長州産の薄雲大理石、長五尺、巾二尺五寸のものを敷き、腰羽目は公衆室、壁際は大理石にして薄雲石、及、蛇紋石を張りて裝飾せり。出納方のスクリーンは金属製として、金庫の周壁は煉瓦を倍增し、天井は鉄筋コンクリート、床は防水層入りコンクリートとし、入口及び窓は東京竹内製重扉とし、窓入口には全部大野式特許品合資会社製の巻上げシャッターを取付け、向暖房は温水式にして、放熱器及汽罐は米國製なり。附属家屋内地下へ汽罐を据付け、鐵管を以て温水を送るものなるが、設計及び工事

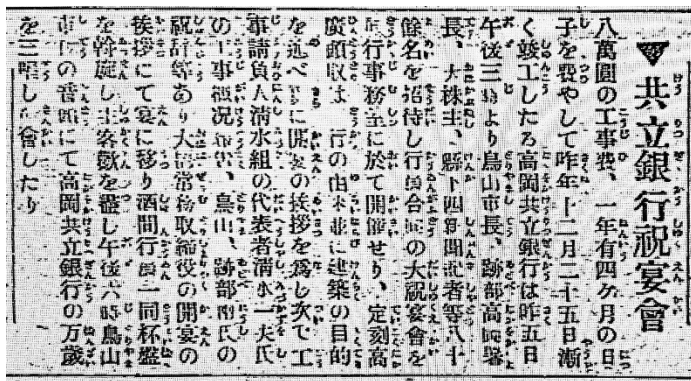
せり同行は来る二十七八の兩日、一般公衆の縦覧に供し、二十八日夜を以て新築行舎に仮移轉を行ひ、翌二十九日より行務を執り、本移轉式は明年一月上旬若くは中旬ならむと云ふ。今、其の構造の一斑を記るさんに、基礎は地下十一尺を掘下げ、コンクリートを以て固め、壁は補強式鉄骨煉瓦造にして、標準壁の厚一尺二、三寸、外部は大坂窯業会社製裝飾煉瓦を張付け、北米産の花崗石を混飾し、正面昇降口は總体花崗石にして、頂上の金属製行名は、帝都實業家の巨擘たる渋沢男爵の揮毫にかゝるものにて筆勢勇健、大に衆目を惹く。行舎の階下を金庫、營業、公衆、階段、重役、第一應接、第二應接、第三應接の各室に、二階を貴賓、會議、階段、吹抜各室に、三階を予備室に夫れど配置し、事務室、公衆室、吹抜天井及び重役室、應接室の金属打出し天井は、特に海外に注文したるものにて、その他は漆喰塗とし、二階々段室、同廊下床は鉄筋コンクリート、公衆室は服部製砥出し敷瓦とし、その他は板張りリノリウム敷とし、階段は鐵製にして、段端にはゴム入り金具を取付け、就中營業台甲板は長州産の薄雲大理石、長五尺、巾二尺五寸のものを敷き、腰羽目は公衆室、壁際は大理石にして薄雲石、及、蛇紋石を張りて裝飾せり。出納方のスクリーンは金属製として、金庫の周壁は煉瓦を倍增し、天井は鉄筋コンクリート、床は防水層入りコンクリートとし、入口及び窓は東京竹内製重扉とし、窓入口には全部大野式特許品合資会社製の巻上げシャッターを取付け、向暖房は温水式にして、放熱器及汽罐は米國製なり。附属家屋内地下へ汽罐を据付け、鐵管を以て温水を送るものなるが、設計及び工事

■高岡新報：大正4年(1915)1月6日夕刊

▼共立銀行祝宴会

8万円の工事費、1年有4ヶ月の日子を費やして、昨年12月25日漸く竣工したる高岡共立銀行は、昨5日午後3時より、鳥山市長、跡部高岡署長、大株主、県下4新聞記者等80余名を招待し、行員合同の大祝宴会を同行事務室に於て開催せり。

定刻、高廣頭取は、同行の由来並に建築の目的を述べ、更に開宴の挨拶を為し、次いで工事請負人清水組の代表者、清水一夫²氏の工事概況報告、鳥山、跡部両氏の祝辞等あり。大橋常務取締役の開宴の挨拶にて宴に移り、酒間、行員一同杯盤を幹旋し、主客歡を尽し、午後6時、鳥山市長の音頭にて高岡共立銀行の万歳を三唱し散会したり。

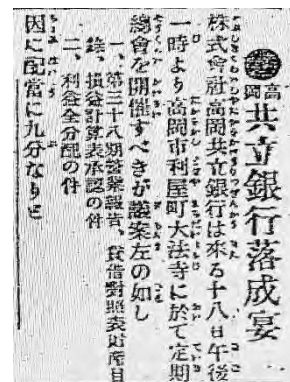
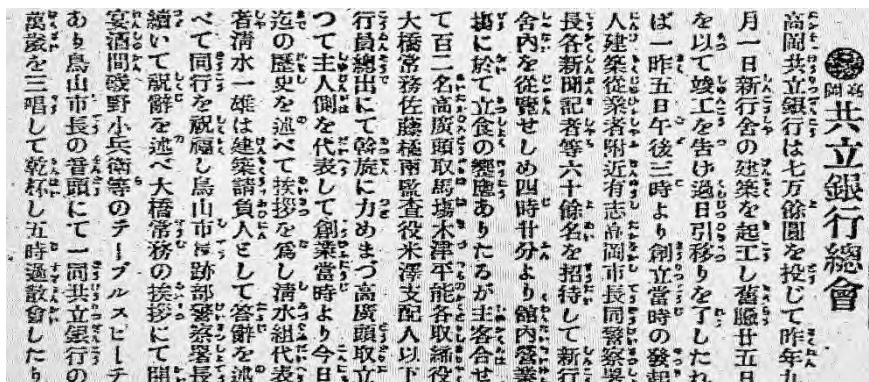


■北陸タイムス：大正4年(1915)1月7日朝刊

●高岡共立銀行落成宴³

高岡共立銀行は、7万余円を投じて昨年9月1日、新行舎の建築を起工し、旧臘25日をもって竣工を告げ、過日引移りを了したれば、一昨5日午後3時より、創立当時の発起人、建築従事者、附近有志、高岡市長、同警察署長、各新聞記者ら60余名を招待して新行舎内を縦覧せしめ、4時20分より館内営業場に於て、立食の饗応ありたるが、主客合せて102名。

高廣頭取、馬場、木津、平能各取締役、大橋常務、佐藤、橘両監査役、米澤支配人、以下行員総出にて幹旋に力め、まづ高廣頭取、立って主人側を代表して創業当時より今日迄の歴史を述べて挨拶を為し、清水組代表者、清水一雄は建築請負人として答辞を述べて同行を祝福し、鳥山市長、跡部警察署長、続いて祝辞を述べ、大橋常務の挨拶にて開宴。酒間、磯野小兵衛等のテーブルスピーチあり、鳥山市長の音頭にて一同、共立銀行の万歳を三唱して乾杯し、5時過ぎ散会したり。



■富山日報：大正4年(1915)1月7日朝刊

●共立銀行祝宴

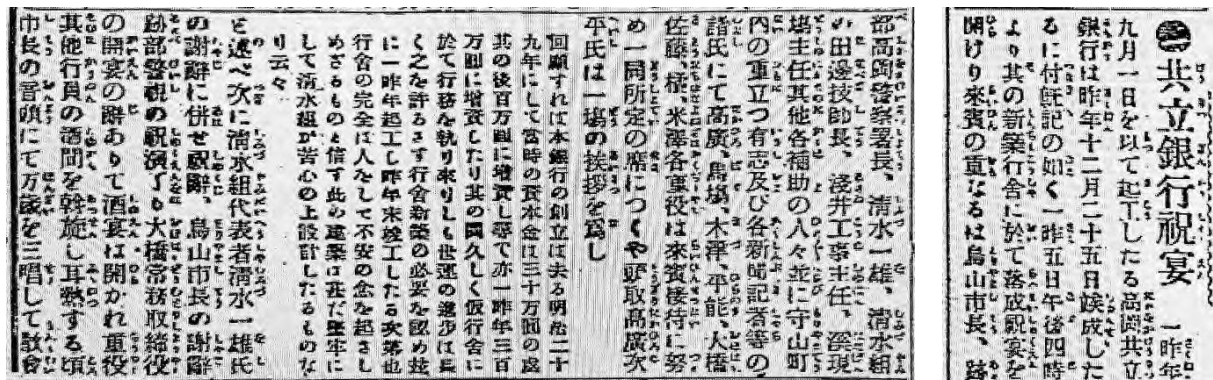
一昨年9月1日をもって起工したる高岡共立銀行は、昨年12月25日竣成したるに付、既記の如く一昨5日午後4時より、その新築行舎に於て落成祝宴を開けり。

来賓の重なるは鳥山市長、跡部高岡警察署長、清水一雄、清水組の田邊技師長、浅井工事主任、溪現場主任、その他各補助の人々、並に守山町内の重立つ有志、及び各新聞記者等の諸氏にて、高廣、馬場、木津、平能、大橋、佐藤、橘、米澤各重役は来賓接待に努め、一同所定の席につくや頭取高廣次平氏は一場の挨拶を為し、

“回顧すれば本銀行の創立は、去る明治29年にして当時の資本金は30万円のところ、その後100万円に増資し、^{はかり} ^{また} 亦一昨年300万円に増資したり、其の間、久しく仮行舎に於て行務を執り、来りしも世運の進歩は長く之を許さず、行舎新築の必要を認め、竝に一昨年起工し、昨年末竣工したる次第也。行舎の完全は、人をして不安の念を起さしめざるものと信ず。

此の建築は、甚だ堅牢にして清水組が苦心の上、設計したるものなり云々”

と述べ、次に清水組代表 清水一雄氏の謝辞に併せ祝辞、鳥山市長の謝辞、跡部警視の祝宴了り、大橋常務取締役の開宴の辞ありて酒宴は開かれ、重役その他行員の酒間を幹旋し耳熱する頃、市長の音頭にて万歳を三唱して散会。



1 「北木産」の誤り。

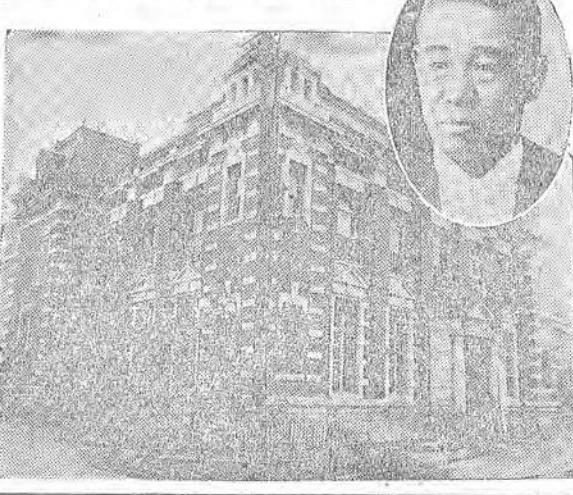
2 「清水一雄」の誤り。

3 見出し文の誤り。

二年間北陸の発展の中心と位置を占めたのは大正十四年四月、當時富山に於いて、富山銀行と北陸銀行の合併がなかつたら何としても富山氏の勝利に歸したであらうに推して可いものだった。富山銀行の合併は同年十二月、上り立町から現在の富山へは十五年七月に移動。同年九月、北陸銀行の創立と同時に、合併にあげられて今日に至つてゐる。富山の合併の深いことは本年一月、富山銀行で不測の大事故を惹起した際の運轉手に對する思ひ遣りを見てわかる。一時に五六千圓からの大損害を蒙はされながらの氏は職を失つて前途に迷く彼の身上を思つて不憫をかけ出づるだけの保護を加へて、兎に角前途に迷ひのない様にしてやつたと云ふ事は普通人の出来ぬこととして、今でも自動車界の一流に名づつてゐる富山氏は日本自動車會社社長、シロフタイヤー、ミチーリンドイヤー、ハドソン・ホンダ・ポンプ自動車、の各北陸代理店をやつてゐる。

北陸金融界の覇者
高岡銀行の陣容振
内容充實、基礎鞏固

高岡銀行銀景 頭取木津太郎平氏



北日本唯一の商工業地として知られた富山は、日ぬきの「富山守山町」として、四界を跨する如く、見るからに宏壯なる雄姿を呈する。北陸金融界の覇者として、千八百八十一圓高貴出し金二千七

北陸タイムス二十周年記念号：昭和2年（1927）7月30日

北陸金融界の覇者
高岡銀行の陣容振
内容充實、基礎鞏固

北日本唯一の商工業地として知られた富山は、日ぬきの「富山守山町」として、四界を跨する如く、見るからに宏壯なる雄姿を呈する。北陸金融界の覇者として、千八百八十一圓高貴出し金二千七

東洋絹織
財界恢復を待つ

富山市外郊外の東洋絹織株式會社は、大正七年三十五萬圓を以て創立せられ、其後財界好況の波に乘じて一躍百五十萬圓に増資し、大に其の將來の發展の期せられんとす。

勤務する こと既に二十有餘年、大坂支店長であつた人付、支那人の菅野三郎氏といふ、菅野大出で、前頭取菅野傳右衛門氏の令弟で、まじめで、然も事務に精進せる熱心な事務家である。かく描くも描つた陣容を有するものは他に多くその例を見ない。思ふに將來の發展は、是れに全く期待するものがある。

惠ぐまれぬ
東洋絹織
財界恢復を待つ

富山市外郊外の東洋絹織株式會社は、大正七年三十五萬圓を以て創立せられ、其後財界好況の波に乘じて一躍百五十萬圓に増資し、大に其の將來の發展の期せられんとす。

表 資料 4. 国内で金属天井の残存が確認される建物一覧

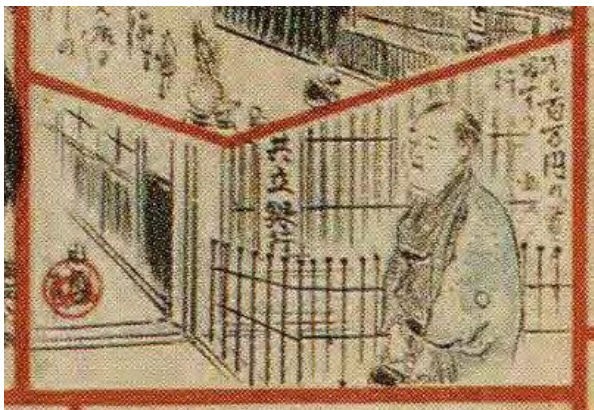
	建物名称（旧名称）	所在地	用途	建築年	構造	建築面積	設計者	施工者	金属天井		
									室名	天井面積	文化財区分
1	旧西郷従道住宅	愛知県 犬山市	住宅	明治10年代	木造	253㎡	レスカス	不詳	客用食堂	約25㎡	国重文
2	北海道庁旧本庁舎	北海道 札幌市	庁舎	明治22年 (1889)	煉瓦造	1,654㎡ (二階)	北海道庁土木課（平井晴二）	不詳	記念室、廊下等	不詳（復原）	国重文
3	シャトー・カミヤ旧醸造場施設 事務室	茨城県 牛久市	事務所	明治36年 (1903)	煉瓦造	308㎡	不詳	不詳	2階応接室	約100㎡	国重文
4	神奈川県立歴史博物館 （旧横浜正金銀行本店本館）	神奈川県 横浜	銀行	明治37年 (1904)	煉瓦造、一部RC造	1,998㎡	妻木頼黄	不詳	倉庫・事務室（旧頭取室）応接室（重役室）	不詳	国重文
5	日本写真印刷本館 （旧京都綿ネル本社事務所）	京都市 中京区	事務所	明治39年 (1906)	煉瓦造	不詳	イギリス人	不詳	不詳	不詳	-
6	黒滝村旧役場庁舎	奈良県 吉野郡	庁舎	明治43年 (1910)	木造	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	県指定
7	北浜長屋 （旧加島安治郎商店営業所）	大阪府 大阪市	事務所	大正初期か	木造	108㎡	不詳	不詳	応接室？	約10㎡	国登録
8	赤レンガの銀行 （旧高岡共立銀行本店）北棟	富山県 高岡市	銀行	大正3年 (1914)	鉄骨煉瓦造	361㎡	清水満之助店 （田辺淳吉）	清水満之助店	営業室、応接室	約250㎡	国重文
9	街角ミュゼ牛窓文化館 （旧中國銀行牛窓支店）	岡山県 瀬戸内市	銀行	大正4年 (1915)	煉瓦造	104㎡	不詳	不詳	営業室	不詳	国登録
10	旧石川組製糸西洋館本館	埼玉県 入間市	迎賓館	大正10年 (1921)	木造	301㎡	不詳	不詳	不詳	不詳	国登録
11	旧マルヤマ商店事務所	広島県 福山市	事務所	大正11年 (1922)	木造	90㎡	長谷川建築事務所	横山善吉	事務室	不詳	国登録
12	THE CONDOR HOUSE 1926 （旧名古屋銀行本店ビル）	愛知県 名古屋	銀行	大正15年 (1926)	RC造	1,198㎡	三菱合資会社地所部	不詳	不詳	不詳	-
13	大阪農林会館	大阪府 大阪市	事務所	昭和5年 (1930)	RC造	不詳	三菱合資会社地所部	不詳	事務室	不詳	-
14	桐生市水道山記念館 （旧配水事務所）	群馬県 桐生市	事務所	昭和7年 (1932)	木造	157㎡	清水三五郎	不詳	不詳	不詳	国登録
15	神戸市立博物館 （旧横浜正金銀行神戸支店）	兵庫県 神戸市	銀行	昭和10年 (1935)	RC造、一部鉄骨造	1,775㎡	桜井小太郎	竹中工務店	ホール（営業室）	約400㎡	国登録
16	源ヶ橋温泉浴場	大阪府 大阪市	銭湯	昭和12年 (1937)	木造	343㎡	不詳	不詳	脱衣場	不詳	国登録
17	扇湯	兵庫県 淡路市	銭湯	戦前	不詳	不詳	不詳	不詳	脱衣場	不詳	-

高岡繁昌双六



高岡繁昌双六

明治三十三年一月一日
北陸中央新聞附録（塩崎利平蔵）



共立銀行（拡大）



高岡銀行株式会社（拡大）

山町筋伝統的建造物群保存地区
旧高岡共立銀行保存活用計画

発行年月	令和4年3月
発 行	高岡市市長政策部都市経営課 〒933-8601 富山県高岡市広小路 7-50
編 集	高岡市市長政策部都市経営課 〒933-8601 富山県高岡市広小路 7-50
執筆・編集	株式会社 文化財保存計画協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5 岩波書店一ツ橋ビル